

■福岡/北九州市の実施報告

「金融経済教育公開授業 in 福岡（北九州市）（若松商業高校）」（12月5日開催）

若松商業高等学校は、昭和35年4月に福岡県立若松高等学校商業科が分離独立して創設され、今年で65年目を迎える伝統ある商業高校です。また、県内に5校（県立3校・公立1校・私立1校）しかない単独商業の一つとして、地域に根差し、商業に関する専門知識・技術の習得及び社会人として望ましい心構えや理念を養っています。

また、本校は、商業に関する専門的な知識・技術を身に付けさせ、地域社会に信頼され貢献できる生徒を育成するため、新入生募集を160名一括して募集する「くくり募集」を行い、1年次に商業の基礎を学習します。そして、2年次には、それぞれの興味・関心や能力、適性、進路希望をもとに総合ビジネス科とビジネス情報科の2つの学科に分かれて学習します。令和4年度入学生から、総合ビジネス科を3クラス（地域創造クラス・ビジネスクラス・商業進学クラス）に分け、簿記・会計分野やマーケティング分野、情報分野といったより専門性の高い学習に取り組んでいます。

12月5日（木）に金融経済教育公開授業を開催し、1年生を対象に公開授業と、山田真哉氏による講演会を行いました。

▼ 参加者内訳：県教育委員会2名、他校教員9名、本校教員9名、生徒140名 合計160名

1. 公開授業

「キャッシュレス決済の仕組みと危険性に関する知識を身に付け、金融トラブルに巻き込まれないための対応策を考えよう」と題して、商業科目「ビジネス基礎」において、クレジットカード使用における心構えについてグループ討議するといった授業が行われました。成年年齢が18歳に引き下げられ、高校3年生よりクレジットカードを作成することができるようになりました。そのため、クレジットカードの適切な使用方法について学習することが大変意義があります。具体的には、クレジットカード決済の仕組み及び特徴を細かく学習し、クレジットカードの特徴である「後払い」や様々な事例を踏まえたうえでクレジットカードの適切な使用方法を学び、生徒自身が金融トラブルに巻き込まれないための知識を身に付けることができました。

2. プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13：30～13：40 | 受付 |
| 13：45～14：30 | 公開授業 「ビジネス基礎」(1年4組)
「キャッシュレス決済の仕組みと危険性に関する知識を身に付け、
金融トラブルに巻き込まれないための対応策を考えよう」 |
| 14：40～14：45 | 開会挨拶 福岡県立若松商業高等学校 校長 長野 満晴 |
| 14：45～15：35 | 講演「マネー・家計・人生 未来を切り開く新資産形成術」
講師 山田 真哉 氏 |
| 15：35～15：40 | 閉会挨拶 福岡県金融広報委員会 事務局長 原田 幸一郎 |